

「生活習慣と内臓脂肪量の関連に関する研究」

1. 研究の対象

2004年2月から2005年2月末までの期間にがん予防・検診研究センター（当時）のがん検診を受診し、マルチスライスCTスキャンによる腹部撮影を受け、かつ研究協力についての同意が得られた方を対象とします。

2. 研究目的・方法

◇ 研究の概要：

肥満の割合の少ない日本人において、アンケートから把握した食事摂取量や身体活動などの生活習慣と内臓脂肪量との関連を明らかにするための研究です。

◇ 研究の意義：

日本人は、欧米人と比較し、肥満の割合が少ないことが報告されています。また、日本人における生活習慣と内臓脂肪量との関連は十分に明らかになっていません。生活習慣（食物摂取頻度調査票から算出した食品・栄養素摂取量、身体活動量など）とCTスキャンを用いて計測した内臓脂肪量との関連が明らかになれば、内臓脂肪が蓄積することが重要なリスク要因と考えられているメタボリック症候群や大腸がんのような肥満に関連するがんの一次予防における、適切な生活習慣を提案することができると思われます。また、たとえば、身体活動量やカルシウム摂取量と内臓脂肪量との関連が明らかになれば、運動やカルシウムを用いた大腸がん予防介入試験の計画立案などに結びつく可能性もあります。

◇ 研究の目的：

健常な日本人において、アンケートから把握した生活習慣（食物摂取頻度調査票から算出した食品・栄養素摂取量、身体活動量など）とCTスキャンにより計測した内臓脂肪の量とをくらべ、日本人における生活習慣と内臓脂肪量との関連を明らかにします。

◇ 研究の方法：

<研究デザイン>

国立がん研究センターのがん検診受診者を対象とした断面研究

◇ 研究の実施期間：2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 食事記録票・食物摂取頻度調査票のデータ等

- ② 検診受診時のマルチスライス CT スキャンデータ、一般身体計測値、血液検査値、生活習慣情報等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

◇ 試料・情報の提供

国立がん研究センター内のみで情報等を共有しますが、電子媒体を用いる場合は、暗号化・パスワード管理など、第三者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施します。

◇ 情報の公表

研究の成果は、論文および学会等で発表します。

◇ 個人情報保護に関する配慮

解析する情報は、本研究専用で割り振られた研究番号が割り振られており、解析者は個人を特定することはできません。

5. 研究組織

国立がん研究センター

山地太樹 (研究代表者)

澤田典絵、岩崎基、片桐涼子、津金 昌一郎(共同研究者)

5. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書、および関連資料を閲覧することが可能です。また、試料・情報が、当該研究に用いられることについて、対象者の方、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。
この場合も対象者の方に不利益が生じることはありません。

◇ 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 疫学研究部

担当研究者：片桐涼子

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話 TEL 03-3542-2511 (内線 3334)

◇ 研究代表者/ 研究責任者

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 疫学研究部

室長 山地 太樹